

## 栃木県における「RPA導入に係る実証実験及び検証等業務」の契約締結について

～ ICT活用による省力化・効率化を推進します ～

東日本電信電話株式会社栃木支店(支店長:長谷部 周彦、以下 NTT 東日本)は、栃木県の「RPA※導入に係る実証実験及び検証等業務」を2019年8月6日に契約締結し業務を開始しました。

※ RPA: Robotic Process Automation の略。ソフトウェア等を使用しデータ入力業務等を自動化する。

### 1. 背景・目的

栃木県では、少子化による労働人口の減少が進む中、働きやすい職場環境を整え、「ICTの活用による省力化・効率化」により、県庁全体の労働生産性を高めていくにあたり、RPAを用いて事務の一部を自動的に処理することを計画しておりました。

NTT 東日本では、これまでの業務で蓄積したRPAのノウハウを活用することで、自治体や企業が抱える業務の効率化、紙などの省資源化という課題の解決に貢献できると考え、栃木県が計画した「RPA導入に係る実証実験及び検証等業務」の公募型プロポーザルに参加し、委託候補者に選定されたため、契約締結となりました。

### 2. 業務支援期間

2019年12月20日(金)まで

### 3. 対象業務

(1) RPA導入に関する説明会に関すること

(2) 実証実験に関すること

ア. 紙文書をAI-OCRによる読取・データ化及びRPAとのデータ連携により、一連の処理が可能と思われる対象事務の分析及び見直し

イ. 前ア項のシナリオ等の作成及びAI-OCR読取の設定

ウ. 従来事務フローとの比較等、効果測定

エ. 前ア、及びイ項の結果を検証し、実施過程、課題、効果等の取りまとめ

(3) 本格運用における課題検討への支援に関すること

(4) 報告書作成に関すること

### 4. 今後の取り組み

今後、NTT東日本は、本業務での経験を活かし、県内自治体や企業等地域の様々なお客様の業務効率化や働き方改革を実現するソリューションの提案を目指します。

報道発表資料に記載している情報は、発表日時点のものです。

現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。